

## 第16回七飯町地域公共交通活性化協議会 概要

- 1 日時 令和6年3月27日（水）10時00分～11時00分  
2 場所 七飯町役場 201会議室（七飯町本町6丁目1番1号）  
3 出席者 委員総数15名の内12名出席（内3名代理出席）、3名欠席  
随行者2名、報道2社、事務局4名  
委託事業者2名（日本データサービス株式会社計画調査部）

### 4 議事

- (1) 大沼地区移動支援実証実験について  
(2) 令和6年度収支予算（案）について  
(3) 函館空港大沼線及び新函館北斗大沼線の運行における最低車両数の変更に関する協議について  
(4) その他

### 5 内容

区分	内容
1 開会	・会長挨拶 ・欠席委員報告
2 議事	※議事進行は、七飯町地域公共交通活性化協議会規約に基づき、会長である七飯町副町長が行う。 (1) 大沼地区移動支援実証実験について ・資料1により、事務局から説明 <質疑等> 【委員】 実証実験の期間を1年も行う必要はないと思う。来年本格運行する際に有料とした場合の利用者の動向などを想定しているか。 【事務局】 実証実験の期間は季節ごとの利用状況の把握や有料運行へ移行するための運輸局その他関係機関への手続きの準備に要することなどを踏まえ1年間実施したいと考えている。料金については、利用者との意見交換や既存の公共交通の運賃などを考慮し、具体的な料金設定について検討を進めていきたい。 【委員】 事務局の方で具体的な料金案はいくらか。 【事務局】 具体的な料金案は現時点で想定していない。利用者や事業者などと意見交換を行い、検討していきたいと考えている。 【委員】 具体的な料金を含めどのようなスケジュールを考えているのか。 【事務局】 現時点のスケジュールは令和7年1月末まで実証実験を行い、2月からスムーズに本格運行へ移行する予定で考えている。料金の設定など本格運行の内容は概ね秋

頃、その前には決定したい。

→その他質疑等無し

(2) 令和6年度収支予算(案)について

・資料2により、事務局から説明

<質疑等>

**【委員】**

事業計画はないのか。町負担金110万円は七飯町議会で可決されたのか。議会の中で総合交通ブック作成業務委託料の話は出たのか。本協議会で高齢者に対するタクシーの運賃負担軽減実証実験やデマンド交通などの検討をこれまで協議してきたと思うが、収支予算案にそのような予算が反映されていないということは令和6年度内には一切何もやらないということなのか。

**【事務局】**

七飯町地域公共交通計画の施策を進めていくということが事業計画に当たると捉えている。町負担金については3月の第1回七飯町議会定例会において可決されている。予算審議の説明において本協議会が活動していく内容、総合交通ブック制作に関することなどを説明している。運賃負担軽減策やデマンド交通といった具体的な施策について、具体的な記載はないが、計画の施策スケジュールに基づき検討、実施していきたいと考えている。

**【委員】**

今回の収支予算案を見るとこれまで協議していたことは何だったのかと思ってしまう。タクシーの実証実験は、本来ならもっと以前から実施計画を検討していたにも関わらず、現時点で収支予算案に計上されていないということは、完全に無くなってしまったという考え方なのか。

**【事務局】**

完全に無くなってしまったという考え方ではない。実証実験の結果を踏まえてこれまで検討、研究しているところである。

**【委員】**

いつまでやらないのか、当面の間なのか、令和6年度はやらないのか、これから2025年には高齢者が一番多くなるという問題もある中で、このような時期に何もしないというのはおかしいと思う。町としての考え方を教えてほしい。

**【会長】**

町の考え方としては、計画の施策については引き続き検討していく。来年度については、本協議会への負担金と大沼地区の実証実験をやっていく。全く何もやらないというわけではないので、町民の意見を聞き、関係者と調整して、具体的な施策について検討していきたい。

**【委員】**

前段の委員の発言にあったタクシーの実証実験について、現状で町民の一定程度

は実施されるだろうと期待していると思うのだが、町からの音沙汰が全くない。これまで実証実験を行い、ある程度利用実態などを把握し、町としてこういう方向でいこうという結論が出せると思うのだが、今後について結論をいつどのように出す予定なのか。

**【事務局】**

タクシーの実証実験は計画施策の運賃負担軽減策に当たり、今後実施していかなければならないと認識しているが、具体的な結論を示すのは現状難しいと考えている。

**【委員】**

ここまで時間が経過しているのだから、町として結論を出して、どのように進めていくのかを決断しなければならないと思う。それなのに町として未だに検討ということは町としてやる気があるのか、実施できるのかできないのか、その辺をもう少し簡潔明瞭に答えてほしい。

**【会長】**

利用者の意見や事業者のヒアリングを踏まえ、関係各所の調整を行っているところである。実施に当たっての予算の部分について、費用対効果を含めてどのように実施するべきか、引き続き検討させていただきたいと考えている。

**【委員】**

参考資料の令和5年度に作成された北斗市の総合交通ブックは利用者から好評だと聞いている。今年度総合交通ブックを作成し、今後はどのような更新のスケジュールを想定しているか。

**【事務局】**

利用者からの意見などを参考に、更新の時期など検討する。

**【委員】**

総合交通ブックの配付方法を教えてほしい。

**【事務局】**

町民への全戸配付や必要性の高い施設などへの配架を想定している。収支予算案に全戸配付するための折込手数料を計上している。

→その他質疑等無く承認

(3) 函館空港大沼線及び新函館北斗大沼線の運行における最低車両数の変更に関する協議について

・資料3により、事務局から説明

→質疑等無く承認

(4) その他

・資料4について、事務局から情報提供

<質疑等>

	<p><b>【委員】</b>  今後のスケジュールの中で、大沼地区の実証実験は令和7年2月からの本格運行となっているが、これは確定しているのか。検討と記載がある部分は具体的に何を検討するのか。</p> <p><b>【事務局】</b>  現時点の予定では今後のスケジュールのとおり本格運行に向けて進めていきたいと考えている。具体的な内容を明確に示すことは現時点では難しいが、計画の各施策内容を実施できるように検討を進めていく。</p> <p><b>【委員】</b>  大沼地区の本格運行実施に向けての課題は何か。大沼地区だけを前倒しで実証実験をやっているが、他の地区はやらないのか。</p> <p><b>【事務局】</b>  料金面を含めて様々な課題解決に向けた調整を実施していきたい。計画施策スケジュールに基づき、調整ができた地区から実施しており、他の地区においても検討を進めていることから、実施しないというわけではない。</p> <p><b>【委員】</b>  大沼地区の実証実験は本格運行まで話が進んでいるが、運賃負担軽減策など他の計画施策が全然進められていないのは問題で、どういう条件であれば課題を解決できるかを説明してもらわないといけないと思う。</p> <p><b>【会長】</b>  計画期間の中でできるものを取り組んでいけるよう、しっかり検討していきたい。決して、大沼だけを優先して実施しているというわけではないことは理解いただきたい。</p> <p><b>【委員】</b>  議事（1）で示したような実証実験の実施結果については、今後本格運行に向けて検討していくとなるとこのような資料ではなく、もう少し詳細なデータを示した資料を出してほしい。</p> <p><b>【会長】</b>  次回以降の協議会資料については、内部で協議し、わかりやすく、詳細な資料を提供できるよう努めてまいりたい。</p> <p>→質疑等無し</p>
3 閉会	<p>・事務局から次回開催について令和6年5月頃を予定</p>